

問題  
1

## 年齢別人口

▶目標 I ▶大項目-1 ▶中項目-B

日本の令和5年(2023年)における総人口に占める生産年齢人口の割合に最も近いのはどれか。

1. 11%
2. 29%
3. 59%
4. 87%

問題  
2

## 世帯

▶目標 I ▶大項目-1 ▶中項目-B

令和4年(2022年)の国民生活基礎調査で、65歳以上の者のいる世帯に夫婦のみの世帯が占める割合に最も近いのはどれか。

1. 7%
2. 20%
3. 32%
4. 50%

問題  
3

## 平均寿命

▶目標 I ▶大項目-1 ▶中項目-B

平均寿命とは( )歳の平均余命のことである。  
( )に入るのはどれか。

1. 0
2. 20
3. 40
4. 60

問題  
4

## 死亡数

▶目標 I ▶大項目-1 ▶中項目-B

日本の令和5年(2023年)の死亡数に最も近いのはどれか。

1. 約77万人
2. 約80万人
3. 約157万人
4. 約167万人

## 解説 1

## ▶正答 3

- 1  生産年齢人口とは、人口統計において、生産活動の中心となる15～64歳の人口を意味し、生産年齢人口以外は**従属人口**に分類される。生産年齢人口には就業の有無や意思は反映されない。2023(令和5)年の生産年齢人口の総人口に占める割合は、**59.5%**である。年少人口(15歳未満人口)が**11.4%**、老年人口(65歳以上人口)が**29.1%**となっている。
- 2
- 3
- 4

## 解説 2

## ▶正答 3

- 1  2022(令和4)年国民生活基礎調査によると、65歳以上の高齢者のいる世帯の数は
- 2  **2,747万4千世帯**(全世帯の**50.6%**)である。65歳以上の者のいる世帯のうち、夫婦のみの世帯の割合は**32.1%**で最も多く、次いで多いのが単独世帯(1人暮らし)の世帯で、**31.8%**である。
- 3
- 4

## 解説 3

## ▶正答 1

- 1  厚生労働省が公表している簡易生命表は、日本にいる日本人について、前年1年間の死亡状況が今後変化しないと仮定したときに、各年齢の人が1年以内に死亡する確率や、**平均してあと何年生きられるか**という期待値などを、死亡率や平均余命などの指標によって表したものである。ここで示される**0歳の平均余命**が平均寿命にあたり、すべての年齢の死亡状況を集約したものとなっている。2022(令和4)年の男性の平均寿命は**81.05年**、女性は**87.09年**である。
- 2
- 3
- 4

## 解説 4

## ▶正答 3

- 1  2023(令和5)年の死亡数は**157万5,936人**で、前年の156万9,050人より6,886人**増加**し、死亡率(人口千対)は13.0で前年の12.9より上昇した。死因の第1位は**悪性新生物**(腫瘍)、第2位は**心疾患**、第3位は**老衰**である。
- 2
- 3
- 4